

20) 靈的エクササイズ14. 2020年4月28日(火)

朗読 使徒言行録 7:51-8:1a

福音 ヨハネ6:30-35

英語からの訳 Translated by Maria Michaela O.

父と子と聖霊の御名によって、アーメン。

私たちの主イエスと、イエスの母、私たちの御母、おとめマリアは賛美されますように！

兄弟姉妹の皆さん、ヨハネ6章30節で、人々はイエスに尋ねています。

「わたしたちが見てあなたを信じることができるように、どんなしるしを行ってくださいますか。どのようなことをしてくださいますか。わたしたちの先祖は、荒野でマンナを食べました。『天からのパンを彼らに与えて食べさせた』と書いてあるとおりです。」

先祖が食べた天からのパンとは、どんなものだったのでしょうか。それは、荒野で食べることでできるものでした。食べ物が無いと彼らは不平を言い立てたので、神は食べ物をお与えになりました。毎朝、彼らは露が降りた後に残ったマンナを集めました。毎日1日分だけが与えられ、来る日も来る日も同じようでした。(出エジプト16章)

まるで神が、「明日のことは心配しなくてよい、1日の悲しみは1日で十分である」と言っておられるようです。

これはすでに私たちにとって大きな教訓です。毎朝、私たちは立ち上がって主の御前に来ます。そして、主が教えてくださった祈りを通して、「天におられるわたしたちの父よ、わたしたちの日毎の糧を今日もお与えください」と願います。

この「日毎の糧」とは本当は何であるのか、私たちは注意深く見なければなりません。

今日の福音に戻りますが、人々はしるしを求めていました。イエスはすでにしるしをお与えしておられたのですが、彼らはそれに気づいていませんでした。そのしるしとは、ただのパンだったからです。

しかし、このしるしの背後にはもっと偉大な何かがありました。それは、イエス御自身です。これを私たちが知ることはとても大切です。なぜなら、神は象徴的な何かをお与えられただけでなく、御自分の御子をお与えられたからです。御自分が与えることのできるすべてを私たちに与えられたのです。

だから、イエスは言われました。「神のパンは、天から降って来て、世に命を与えるものである。」

このパンは、私たちが買ったり報酬として手に入れたりできる「物」ではありません。ただいただくのです。それは、この地上に遣わされた方、イエス・キリスト御自身です。私たちはしるし以上の「者」を手に入れています。私たちは神御自身を手に入れているのです。神自らが御自分をこれほど小さくされ、私たちが自分の掌に取り、口の中に入れ、私たち

一人一人の内に来ることができるようになされたのです。神のパンは、天から降って来て、世に命を与える「者」だからです。

すると、人々は言いました。「主よ、そのパンをいつもわたしたちにください。」

イエスよ、そのパンをいつも私たちにください。

私たちも願います。

イエスよ、私たちが心を尽くしてあなたをいただくことができますように。体にだけではなく、感情、魂、内なる力、内なる可能性を尽くしてあなたを受けて愛することができますように。天の父よ、感謝します。あなたの愛は偉大です。ですから、あなたから生まれた御ひとり子イエス・キリストを惜しまず私たちに与えてくださいました。

イエスよ、世に来てくださり、ありがとうございます。あなたは本当に小さき者となり、まず御母マリアの胎内に来られました。しかし、それでも足らず、私たち一人一人の心の中に来ることを望まれました。

イエスよ、私たちが愛と期待で満たしてください。私たちはあなたを待ち望み、あなたの内に成長することを期待します。

あなたが私たちの内で育ち、私たちの内で実を結びますように。

今日、主イエス・キリストが私たちに祝福してくださいますように。たとえ聖体拝領に与ることができなくても、聖体拝領を熱望することはできます。あの群衆がイエスに「そのパンをいつもわたしたちにください」と言った時も、まだ御受難と御復活まで時間がかかりました。共に祝う最初の御聖体の秘跡までまだ待たなければなりませんでした。

主イエスよ、私たちに大きな忍耐をお与えください。あなたを求める熱望が私たちの霊の内に深まりますように。父と子と聖霊の御名によって。アーメン。